

# 「にほんごるーむ」活動のご案内

NPO 法人神奈川区多文化共生の会

## 【基本理念】

「にほんごるーむ」は、豊かな地域社会の実現のため、ボランティアと学習者が対等な立場で、互いを尊重しながら共に学び合う場とする。

## 【求められる姿勢】

**傾聴**…日本人の感覚を優先せず、学習者の文化的背景や習慣を理解する。どうしたいのか、何を学習したいのか、など**学習者の意向をよく聴き、学習者が最終的に選択したものを尊重する。**

**待つ**…ボランティアが話し過ぎず、**学習者の発話を促す工夫**を意識する。

**相談**…活動上の不明点や悩み、問題点などは自己解決せず、ラウンジ窓口や周囲に相談し、皆で研鑽する意識で進めていく。

## 【ルール】

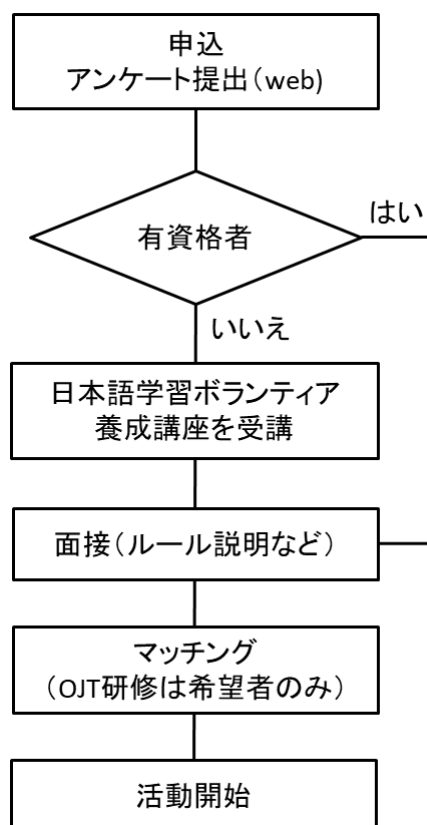
- ・活動に必要な教材のコピーは、著作権法上できません。Web教材の印刷は可能です。ラウンジ内のコピー機で印刷を行う場合は無料です。
- ・欠席連絡は、緊急時を除き活動日の前日までをお願いします。
- ・教室外での交流活動については、原則自由です。ただし、教室外で起こった事故等について、神奈川区多文化共生ラウンジは責任を負いません。
- ・ハラスメント等、何らかの問題が生じた際は、必ずコーディネータにご相談ください。

## 【進め方】

- ・コーディネータが、学習者へのニーズ調査をもとに、ボランティアとのマッチングを行います。その後、学習者・ボランティア・コーディネータの三者面談を行い、学習方針を決めます。
- ・1か月の試行期間を経たのち、ボランティア活動継続の意志確認を行います。
- ・定期的に活動状況についてのヒアリングがあります。

以 上

## 養成講座終了後、受講者が活動を開始するまでの流れ



### 有資格者とは

- (1) 日本語教師養成講座 420時間以上修了
- (2) 日本語教育能力検定試験合格
- (3) 大学で「日本語教育科目」を主/副専攻で修了
- (4) 他団体の日本語教室などで1年以上のボランティアの経験がある方。

■講座修了後、いきなりマッチング活動となるのか、見習い研修期間があるのか  
→希望者にはOJT研修を実施します（2回まで）。

■まずNPO 神奈川区多文化共生の会に入るのか など  
→入会は任意です（やくだつ日本語教室「にほんごるーむ」のメンバーになります）

■活動開始までの時間的な目安

→学習者がいる場合は1週間程度でご連絡します。

→活動開始時期については、学習者やボランティアの増減などの状況により、ご希望に添えず、長くお待たせすることもあります。ご了承ください。

## 受講者が講座修了後活動する「やくだつ日本語教室」のしくみ

■主催は、神奈川区多文化共生ラウンジなのか（支援者の所属先は？）

→主催はNPO 法人神奈川区多文化共生の会です

→ボランティアの所属先は「にほんごるーむ」です

■教室で扱う活動はどの範囲か（試験対策、一般的な日常生活の日本語）

→生活に直結する日常会話を中心に活動を始め、最終的には幅広いニーズに対応する日本語教室を目指します。

→今後の課題ですが、日本語能力試験対策コースは有料クラスを検討する予定です。

■学習者とのマッチング方法

→コーディネータがヒアリング情報などから総合的判断を行い決めます。

■初回までにどの程度学習者の情報がもらえるのか

→面接（ルール説明など）の時に学習者ニーズ調査データを提供します

■学習者と直接連絡するのか、ラウンジを通すのか

→line オープンチャットを検討中

■セクハラ、カスハラ、モラハラなどがあった場合に対する備えと相談方法

→コーディネータに相談ください

→コーディネータはにほんごる一む運営委員会と共有し、解決方法を検討します。

■活動の現場で困った時のサポート体制

→同上

## 活動に際してのルール

■活動に必要な教材やコピーは個人で準備するのかどうか、その費用は？

→web 教材のコピーは無料です。

→教材は教室での授業については、主催者側が負担するので無料です。但し、教材（教科書）の持ち帰りは認めず、自宅学習用の教材は自己負担となります。

■休む場合の連絡先、

→line のオープンチャットを検討中

■学習者にどのくらいまで負担してもらってよいのか。テキスト代の目安は～¥など

→自宅学習用の教材は自己負担となり約3000円です。

■活動報告のフォーマットや提出方法、期限

→特にありません

■教室外の交流活動について（いっしょにイベントに参加、病院の付き添い・・・）

→日本語ボランティアの活動範囲外です

■緊急時の連絡先と連絡方法

→本人の連絡先以外は取得しません。